

●ガス・エネルギー供給



1

2

3

① 並河元社長。1979年エジプトカイロ生まれ、島根県育ち。
コンサルティング会社を経て帰郷し、2020年4月に代表取締役社長に就任 ②《安来ガスセンター》での医療ガスの充填作業の様子 ③《鳥取ショールーム》では調理機器や床暖房などの設備を展示

山陰地方の産業と人々の暮らしを支える《山陰酸素工業》は、戦後間もない1946年に産声を上げた。ものづくりに必要な不可欠な酸素の取り扱いから始まり、産業用ガスの製造・販売を手がけ、1960年代には一般家庭・業務用LPGガスの供給を開始。2002年からは、地球環境に負荷が少ないクリーンエネルギーの液化天然ガス(LNG)事業にも着手し、時代とともに事業を拡大してきた。

現在では、家庭用から産業、医療用などさまざまな分野で使われる高圧ガスと関連機器販売で山陰トップクラスのシェアを誇る。山陰地方全域から関東、九州地方まで業務エリアを広げ、工業用、医療用ガスを販売。LPGガスは鳥取・島根で約2万戸の供給実績を持ち、さらに山陰酸素グループ(エネルギー、自動車、食品など10社2組合)が、山陰地方を中心に事業を展開し、幅広い分野に対応している。

企業理念に掲げている「わたし

ちは、総合力で地域を支え、生活

(くらし)に豊かさを提供し、輝き

のある未来に向かって共に前進しま

す」という文言からは、戦後の復

興期から山陰の経済を支えてきた自負と、未来に対する強い使命感にあふれているのが感じ取れる。

山陰の経済を支え、地域の未来をリードする

支える《山陰酸素工業》は、戦後間もない1946年に産声を上げた。ものづくりに必要な不可欠な酸素の取り扱いから始まり、産業用ガスの製造・販売を手がけ、1960年代には一般家庭・業務用LPGガスの供給を開始。2002年からは、地球環境に負荷が少ないクリーンエネルギーの液化天然ガス(LNG)事業にも着手し、時代とともに事業を拡大してきた。

現在では、家庭用から産業、医療用などさまざまな分野で使われる高圧ガスと関連機器販売で山陰トップ

クラスのシェアを誇る。山陰地方全

域から関東、九州地方まで業務ア

ーを広げ、工業用、医療用ガスを販

売。LPGガスは鳥取・島根で約2万

戸の供給実績を持ち、さらに山陰酸

素グループ(エネルギー、自動車、

食品など10社2組合)が、山陰地方

を中心に事業を展開し、幅広い分野

に対応している。

企業理念に掲げている「わたし

ちは、総合力で地域を支え、生活

(くらし)に豊かさを提供し、輝き

のある未来に向かって共に前進しま

す」という文言からは、戦後の復

興期から山陰の経済を支えてきた自

負と、未来に対する強い使命感にあ

ふれているのが感じ取れる。

脱炭素化をはじめ 地域課題の解決に挑む

エネルギーを扱い、地域の産業を

支える会社として、長期的な視野で

取り組んでいるのが脱炭素社会の実

現だ。山陰酸素工業を率いる並河元

社長は「カーボンニュートラル(以

下、CN)化は地球レベルの問題で

あり、化石燃料も扱う当社としては

絶対に取り組まなければならないこ

と」と決意を語る。とはいって、産業

を支えるには再生可能エネルギーだ

けでは供給が不安定だ。まずは地域

の低炭素化や省エネ・創エネへのシ

フトを促し、エネルギーの安定供給

とCO₂排出量削減を両立しながら

段階的なCN化を目指す。

自社のCN化では『GX(グリー

ントランシスフォーメーション)推進

室』を設置して進捗状況を管理して

いる。2つの拠点で太陽光発電シス

テムや電気自動車に貯めた電力を建

物で使用できるV2H(Vehic

le to Home)などの導入を

完了し、Jクレジット購入によりC

N化を達成。今後さらに、GXに関

するノウハウを蓄積し、CN化に取

り組む企業や団体を支援することで

方向性を浸透させる狙いだ。



11

LEADING COMPANY

山陰の豊かな未来に向けて 働く人と地域に幸せをめぐらせる

地域に根ざしたエネルギー企業として産業や暮らしを支える《山陰酸素工業株式会社》。脱炭素や新技術にも果敢にチャレンジしながら、変わり続ける時代の中で、山陰の未来を切り拓いている。



